

鳥取市国民健康保険「第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）」「第4期特定健康診査等実施計画」（案）に係る市民政策コメントの意見及び意見に対する市の考え方

1 募集期間 令和6年2月1日（木）～2月20日（火）

2 募集結果 3件（5項目）

| No. | 該当箇所         | 意見   | 意見に対する市の考え方  |
|-----|--------------|--|--|
| 1   | Ⅱ現状の整理       | KDBが初めて出てくる7ページには下にスペースがあるのでKDBの下に（国保データベース）と書いてあるとわかりやすいのでは。  | 該当部分の表記を「KDB（国保データベース）システム」と修正しました。  |
| 2   | Ⅳ計画全体        | 計画策定時（R4）は数字（割合）が入っているのに、第4期では目標値が「減少」「抑制」の文言になっているのには多少違和感があります。  | 本計画では、令和2～令和4年度のデータを中心に分析し、目標値を設定していますが、コロナ禍でのデータのため、将来予測が立てにくい一部の評価指標については目標値を「減少」や「抑制」等としています。今後のデータ分析を踏まえ、令和8年度に実施する中間評価で再度検討します。   |
| 3   | Ⅴ個別保健事業実施計画  | <p>・病気の予防を目的とした各種健診の実施</p> <p>・健診結果による健康情報の提供により早期発見早期治療につなげる。</p> <p>本計画は、生活習慣病の予防や健診による病気の早期発見・重症化予防、医療費の適正化等多岐にわたったき細かい保健事業の実施計画と思われる。</p> <p>自身の健康管理を考えたとき、基本となるのは日々の食事が重要と考えています。日々口にする食品をできるだけ自然由来のもので摂取したり、できるだけ添加物の少ない食品を取り入れるようにしたいものです。</p> <p>そのためには、食の安全について知ることが重要となると思います。また、自身の健康状態を知る機会は色々あるほうがより良いと考えます。</p> <p>本事業実施計画の実効性を高める一つの手段として、各地区にあります「健康づくり推進員」さんの活動に注目します。例えば、モデル地区を選定し健診率の向上や健康教室の開催や食品の安全に関する講座etc、目標設定により達成した場合のポイント付与等達成感に結び付けては？</p> | <p>生活習慣病は、早期では自覚症状がなく特定健康診査やがん検診等による病気の早期発見・重症化予防が重要です。引き続き、受診率向上に努めるとともに必要な情報提供や適切な治療へつなげたいと考えます。</p> <p>また、食の安全については、現在「第3次鳥取市食育推進計画」において、食品の表示等に関する情報提供や意識啓発などに努めているところです。</p> <p>この度いただいたご意見も参考にさせていただき、関係部署・機関等と連携し、より多くの方に自身の健康状態を知っていただく機会や生活習慣病に関する学びの機会を提供してまいります。</p> <p>事業の推進にあたっては、引き続き各地区の健康づくり推進員の皆様と連携し、より効果的な事業の実施に努めてまいります。</p>   |
| 4   | Ⅴ 個別保健事業実施計画 | <p>生活習慣病重症化予防事業</p> <p>・細部にわたりデータ分析され、事業推進への尽力に敬意を表します。</p> <p>・生活習慣病重症化についても、レシピ等のデータにより、詳しく数字、個人としてわかるものだと驚きました。</p> <p>・実際に個別にあたる数は少ないと思いますので、少しでも母数をふやし、また保健事業との連携により（書いておられますが）啓発事業を一層進められ、健康保持、医療費適正化にむかっていただきたいと思えます。</p> <p>※これとは異なると思いますが、若年層の精神疾患の医療費の増について、一層の対策が必要だと思いました。</p>   | <p>計画の推進にあたっては、生活習慣病重症化予防事業のようなリスクの高い方を対象とした重症化予防事業と、より多くの方を対象とした予防啓発事業を組み合わせながら、庁内や地域、関係機関とも連携し効果的な取組となるよう努めます。個別保健事業については、毎年評価をしたうえで、各事業がより効果的・効率的な取組となるよう必要に応じて実施方法等を見直します。これらにより、市民の健康保持・増進と医療費適正化につなげたいと考えます。</p> <p>※若年層を含む精神疾患対策（メンタルヘルス対策）については「第2期いのち支える鳥取市自死対策推進計画」に基づき実施しています。若年層への対策としては、企業に向いてメンタルヘルス研修や出前講座の実施、学生に向けた大学祭等での啓発活動のほか、電話・来所・家庭訪問等による相談等を実施しております。今後も対象者にあつた支援に努めてまいります。</p> |
| 5   | <巻末資料>用語解説   | <p>・ナッジ理論も用語解説に加えてはどうでしょうか。</p> <p>・用語の解説は50音順のほうが調べやすいと思います。</p>  | <p>用語解説に「ナッジ理論」を追加しました。</p> <p>掲載順については、関連する用語をまとめた配置としています。</p>   |